



坂東地域アグリ通信

令和2年8月20日

坂東地域農業改良普及センター 発行

Tel: 0297-34-2134 Fax: 0297-34-3291

「一番星」・「にじのきらめき」栽培講習会を開催

7月14日、水稲「一番星」・「にじのきらめき」栽培講習会を開催しました。生産者及び関係機関で合計32名が参加しました。JA茨城むつみ管内で生産される「一番星」は、契約出荷が多く、実需者からは安定供給が求められていることから、「一番星」の多収栽培法について現地検討しました。また、全農いばらきから、「一番星」は実需者から高評価であることが説明されました。



さらに、高温耐性とイネ縞葉枯病抵抗性を有する水稲新品種「にじのきらめき」の栽培法について現地検討しました。特に、施肥管理や生育目標についての質問が多く、生産者の関心が高いことが伺えました。

普及センターでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、管内の水稲生産の高品質安定化に向けた取組を支援していきます。

茨城県ぶどう連合会夏期研修会が開催されました

7月28日、令和2年度茨城県ぶどう連合会夏期研修会が開催され、県内の生産者と関係機関合わせて約100名が参加しました。今年度は野外のみでの研修とし、受付時の検温やアルコール消毒等、新型コロナウイルス感染症対策を十分に取って開催されました。



昨年12月に開催された冬期研修会に引き続き、岩井巨峰会の会員2名の圃場で、園芸研究所、専門技術指導員、坂東普及センターの説明のもと、1会場目では冬期研修会に長梢栽培から短梢栽培へ樹形改造した「シャインマスカット」について、2会場目では長梢栽培の「巨峰」について、生育状況と栽培管理を確認しました。

参加者からは、「栽培方針を変えた場合のメリットとデメリットを目で確認することができて勉強になった。」、「久しぶりに他の生産者と現状や方針を共有出来て良かった。」、「今後の経営方針について考え直す機会になった。」という声が聞かれました。

普及センターでは、今後も生産者や関係機関と協力し、ぶどう生産者の経営向上支援に努めていきます。



6月15日～9月14日は茨城県農薬危害防止運動期間です
今一度、農薬の使用方法について確認しましょう

- ①被覆を要する土壌くん蒸剤を施用した後は、被覆を完全に行いましょう
- ②農薬が周辺住宅等へ飛散しないよう、使用ノズルや作業時の風向き等に注意しましょう
- ③農薬や希釈液、残渣等は適正に保管管理、処分しましょう
- ④農薬を使用する前には必ずラベルを確認し、適正に使用しましょう



坂東地域の新たな農業三士をご紹介します

7月2日、茨城県総合福祉会館において大井川知事による認定証授与が行われ、本年度、当地域では新たに農業経営士2名、女性農業士1名、青年農業士1名が認定されました。

農業経営士	張替 慎也氏（坂東市）	露地野菜
	木村 哲也氏（坂東市）	露地野菜
女性農業士	鈴木 明子氏（坂東市）	花き
青年農業士	高橋 忠浩氏（古河市）	露地野菜



令和2年度退任者

女性農業士 山中 茂子氏（五霞町）
青年農業士 和田 浩二氏（坂東市） 菊田 高之氏（坂東市）

長い間
お疲れ様でした

坂東市猿島4Hクラブが食育活動を支援しました

7月17日、坂東市猿島4Hクラブが食育活動の一環として、さしま保育園が取り組むトウモロコシ栽培を支援しました。今回は約25名の園児が参加し、4月に播種したトウモロコシを収穫しました。連日の雨で足元が悪い状態でしたが、園児は泥んこになりな

がらも、「こんなに大きなトウモロコシがとれたよ!」と、夢中になっていました。

普及センターでは、今後も後継者クラブの活動支援と食育活動を通じて、農業の魅力を発信していきます。



9月 土壌診断実施日のお知らせ

- ▶ 9月9日(水)
- ▶ 9月23日(水) を予定しております。

- 個人の農家の方が対象です。
- 受け付けは先着順となりますので、お早めにお持ちください。電話等での予約は行っておりません。
- 1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回診断日となります。
- 1人あたり5点以内の持ち込みでお願いします。

編集後記

例年になく長い梅雨が明けた途端猛暑が続き、身体がなかなかついていけないと感じる、今日この頃です。今年はマスクを着用していることから、今まで以上に熱中症の危険性が高まっています。どうぞ体調に気を付けてお過ごしください。（林）